

## 第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	3	のびやか・雄武	整理番号	46
基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	評 価 責 任 者	教育振興課長 澤田 朋朗
単位施策	1	推進体制の強化		

### 1 施策の概要

基本方針	生涯学習・生涯スポーツ推進体制を強化するため、多様な媒体を通じた情報発信や、指導者の養成、広域連携の強化、さらには家庭教育への支援を進めます。			
現状と課題	【現状】（平成23年度末）		【現状】（平成26年度末）	
	住民のニーズなどに沿った学習・スポーツの機会が持てるように、各種講座やイベント等の開催、文化連盟・体育連盟の各種自主活動の支援などを進めている。		住民のニーズなどに沿った学習・スポーツの機会が持てるように、各種講座やイベント等の開催、文化連盟・体育連盟の各種自主活動の支援などを進めている。	
	【課題】（平成23年度末）		【課題】（平成26年度末）	
	指導者の育成・確保や活動施設の確保、わかりやすい情報の提供などを通じて、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、スポーツを楽しむまちづくりを進めていくことが必要であり、住民一人ひとりに対して、より裾野を広げていく必要がある。		指導者の育成・確保や活動施設の確保、わかりやすい情報の提供などを通じて、「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、スポーツを楽しむまちづくりを進めていくことが必要であり、町民一人ひとりに対して、より裾野を広げていく必要がある。	

### 2 基本施策指標

指標 1	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 2	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 3	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 4	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 5	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 6	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						
指標 7	指標名						
	定義等						
	年 度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）
	目標値						
	実績値						

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	社会体育団体活動費助成事業	生涯教育係	540	A	継続/現状維持	A
②	【再掲】社会教育関係団体活動費補助事業	生涯教育係	650	A	継続/現状維持	A
③	【再掲】家庭教育推進事業	生涯教育係	211	B	継続/現状維持	B
④	【再掲】スポーツ大会推進事業	生涯教育係	315	B	継続/現状維持	B
⑤	【再掲】雄武町スポーツ振興事業	生涯教育係	181	A	継続/現状維持	A
⑥	【再掲】スポーツ教室推進事業	生涯教育係	530	A	継続/現状維持	A
⑦	【再掲】スポーツイベント参加助成金	生涯教育係	127	A	継続/現状維持	A
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	生涯学習・生涯スポーツの推進体制の強化については、生涯にわたる学習及びスポーツを行う機会の確保等を図る上で重要な施策である。
② 有効性	B	少子高齢化等を背景に人口減少傾向にある中、施策を構成する各事務事業は概ね計画どおりに進捗しているが、あらゆる年齢階層が参加しやすい、興味をもたれる基盤づくりの見直し・確立が必要である。
③ 効率性	B	本施策については、生涯教育・生涯スポーツにおける自助・共助・公助の考え方により、行政は町民や団体への活動する環境への支援を行っており、町民主体による概ね効率的な施策の推進を図った。
④ 公平性	A	本施策の効果は、町民全体に及ぶことから公平性は確保されている。
⑤ 町民意見の反映	A	生涯学習・生涯スポーツの推進体制強化については、社会教育委員の会議等の意見を取り入れながら対応を図っている。

5 総合評価【A～D】

- A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等
- B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等
- C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等
- D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等  
(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直しすることが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
生涯学習・生涯スポーツの推進体制の強化については、町民主体の社会教育団体及び社会体育団体活動への支援、町民参加の機会を提供しているが、あらゆる年齢階層が参加しやすい、興味をもたれる基盤づくりの見直し・確立が必要である。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
生涯学習・生涯スポーツの推進体制については、引き続きその強化を進めることで、生涯にわたる学習及びスポーツを行う町民の割合を向上させていく必要があることから、本施策を継続するとともに、あらゆる年齢階層が参加しやすい、興味をもたれる基盤づくりの見直し・確立が必要である。	同 左	

\*今後の方向性の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了
- 休止
- 廃止